



◆ 夏期における水難事故防止について ◆

栃木県内の水難事故発生状況

令和7年中の水難事故発生状況

- ・令和7年中は、11件（前年比＋6）、14人（前年比＋9）の水難事故が発生し、増加傾向にあります。
- ・行為別では魚とり、釣りが約6割、水遊びが約2割といった特徴があります。



夏期における水難事故の特徴

- ・夏の時期は水に親しむ機会が増えるため、県内では河川における魚とり・釣り中や水遊び中の事故が多発する傾向にあります。川の上流で大雨が降ると、雨の降っていない下流でも急に流れが速くなることや増水することがあります。

水難事故を防止するポイント

○ 小学生以下の子供に対する注意

- ・あらかじめ水辺で遊ぶ危険性について話しておきましょう。
- ・必ず保護者が同伴し、決して目を離さないでください。



○ 中学生や高校生に対する注意

- ・泳げないのであれば、その場の雰囲気流され無理して水に入らないこと。
- ・特に「遊泳禁止」の場所では絶対に水に入らないこと。
- ・若さゆえの無茶をしないようご家庭で指導してください。



○ 魚釣りや水遊びの際の注意

- ・体調が優れないときは、水に入るのを控えてください。
- ・水に入る際は、ライフジャケットを着用しましょう。
- ・川の上流の空が暗くなったり川が濁り始めたりしたら、速やかに岸に上がり、安全なところに避難しましょう。

○ 飲酒後の水遊びは厳禁

- ・アルコールは、判断力、運動能力を低下させます。
- ・バーベキューなどで飲酒した状態で川や海に入るのは絶対にやめましょう。



○ その他注意事項

- ・ゴミ等はしっかりと持ち帰り、来た時よりも綺麗にしていきましょう。